

国立大学法人大阪大学総長選考・監察会議（令和6年度第6回）議事録

日 時 令和6年11月28日（木）13時30分～17時30分

場 所 大阪大学中之島センター

出席者 （経営協議会選出委員）

金倉委員、黒田委員、塚本委員、蓮輪委員、藤井委員、村木委員
（教育研究評議会選出委員）

大政委員、栗原委員、敦賀委員、中野委員、西村委員、深川委員

1. 総長選考・監察会議による総長候補者の面接について

総長選考実施要領に基づき、総長候補者2名の面接を行った。

2. 総長予定者の選考について

総長予定者の選考について、各候補者の所信表明書、所信表明演説、公開討論、面接及び学内意向調査の結果を参考に、総長候補者に関する事項について議論を行い、「求められる総長像」を基に定めた15項目の「共通の評価指標」により、各委員が評価を行った。

その後、各委員が総合評価上位の候補者に投票を行った結果、過半数の票を得た熊ノ郷淳候補を総長予定者として決定した。

投票総数 12票（有効投票数12票）

金田 安史 候補 2票

熊ノ郷 淳 候補 10票

開票後、議長が熊ノ郷候補に総長予定者の選考結果を伝え、受諾の有無を確認した結果、熊ノ郷候補が承諾した。

3. 総長予定者の選考結果の公表について

総長予定者の選考結果の公表資料について、検討を行った。

選考理由については、各委員が特に評価したポイントを取りまとめ、次のとおり確定した。

【選考理由】

総長選考・監察会議は、総長に求められる資質・能力を示した「求められる総長像」を策定し、それを基に透明性と公平性の観点から15項目の「共通の評価指標」（別紙）を定めた。

熊ノ郷 淳氏は、学内外の要職を歴任したことで培った教育、研究及び大学・学会運営に関する豊富な経験を有する。学内からの信頼も厚く、高いコミュニケーション力や決断力、実行力を発揮し、学内外の関係者と確固たる信頼関係を築ける人物であり、本学のリーダーとして相応しい。

同氏は、本学の歴史と伝統、世界や社会の動向と今後の大学の発展を踏まえつつ、「学問の府」阪大の強みやリソースを十分活かした将来ビジョンを示している。これは、あらゆる学問分野を俯瞰し新時代に適合する教育研究を推進するものであり、

その卓越性と実現可能性が認められる。

また、同氏は大阪大学の理念を実現するために必要となる改革マインドを持ち、十分に経営能力を発揮できる人物である。

以上、同氏は、「求められる総長像」に掲げる「人品骨柄」、「リーダーシップ」、「ビジョナリー力」、「教育・研究基盤確立力」、「経営能力」の5つの資質・能力を十分に備えており、社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指し、その実現を強力かつ柔軟に追求できる人物であると判断したことから、国立大学法人大阪大学総長予定者として選考した。

4. その他

今回は、令和7年3月18日に開催することとした。